東京聖書学院
The Tokyo Bible Seminary
学院だより
2012年 春号 (第82号) 3月1日発行
発行所／〒189-8512 東京都東村山市廻田町1-30-1
［東京聖書学院］042-391-3076 fax.042-397-7558 郵便振替00190-0-78949
［聖書学院後援会］042-394-8791 郵便振替00170-8-136685

仕える者としての召し

東京聖書学院教頭兼教授
錦織 寛

人のつかえたのも、仕えたれるのは、ただ一つだけの問題。

東京聖書学院はなぜ入学金・授業料を無料にしているのか、とよく聞かれることがあります。私たちは最初からそのようにしてきたわけではありません。ただ、神様が私たちに示されたことを、ひとつずつ、ひとつずつ、実行してきたのです。

一 神に仕える

ルカ10章38～42節に、マルタとマリヤとの話があります。マルタはイエスを自宅に招いたのです。マルタは、イエスのお世話をしようと、一生懸命になっています。ところが、マリヤは、イエスの足もとに座り、イエスの話に聞き入っています。マルタは、マリヤのことを、怠け者だと思ったのでしょう。イエスに、マリヤを手伝うように言ってもらおうと、イエスに文句を言います。すると、イエスは、マルタに、マリヤのしていることは、良い方を選んでいるのだから、マリヤから取り上げてはならない、と言われました。

二 御言に仕える

御言を信じ、御言に従うことは、聖書を通して、イエスに仕えることです。イエスは、「人は、パンだけで生きるのではない。神の口から出る一つ一つのことばによって生きるのである。」と言われました。神の御言葉は、人の魂を生かす力があります。ですから、私たちは、人の言葉に、人の考えに、人の経験に、人の学歴に、人の肩書に、人の財産に、人の容姿に、人の家柄に、人の国籍に、人の人種に、人の性別に、人の年齢に